

事業報告書

I 事業の実施状況

令和2年度上半期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主催事業は延期もしくは中止するとともに、各種大会への参加を中止することとなりました。下半期（夏以降）は、感染防止対策を取ったうえで、映像等を活用するなど工夫をして事業を実施しました。

1 協会の健全な運営

公益財団法人として、法制度に基づき適正な法人の運営と財政基盤の確保に取り組み、障害者福祉の向上と協会の健全な発展に努めました。

(1) 法人諸会議の開催

定款に基づいた、法人運営に必要な評議員会や理事会等を実施しました。

- ① 評議員会の開催（2回）
- ② 理事会の開催（4回）
- ③ 監事会の開催（2日）
- ④ 三役会の開催（5回）

(2) 日本身体障害者団体連合会（以下「日身連」という。）や近畿ブロック連絡協議会への参画

上部団体である日身連や近畿ブロック連絡協議会が実施する会議等は、書面やオンラインによる開催となり、書面等により出席しました。

- ① 「日身連」評議員会（書面：1回）
- ② 近畿ブロック連絡協議会団体長・事務局長会議（書面：2回）

(3) 公益目的等付帯業務の実施と安定した財源の確保

公益目的事業を実施するための安定した財源確保に向けて、次の事業を実施しました。

- ① 日身連収益事業所が実施するカタログ販売の斡旋
- ② 基本財産等の有効的な運用
- ③ 自動販売機の設置
- ④ 広報誌や開催事業への広告協賛や賛同企業による寄付の拡大
- ⑤ 企業等からの寄付金については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施せず

2 地域等組織の活性化の支援

協会の組織基盤である地域団体や障害者団体の体制強化を支援するため、次の事業に取り組みました。

(1) 組織活性化のための地域等支援の取り組み

- ① 地域等組織活動活性化事業の募集（審査会の開催 1回）
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大による影響調査（2回）
- ③ 広報紙に地域の活動を掲載（4回）
- ④ 滋賀県市長会、滋賀県町村会へ各地域活動への支援と協力を要請（各1回）

(2) 地域活動への協力

県立障害者福祉センターにおける文化やボッチャ教室の地域開催などにより、県内各地域の活動に対する事業連携や支援に取り組みました。(別掲)

3 県立障害者福祉センターの経営

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度当初から臨時閉所するなど、過去に経験のない事態でのスタートとなりましたが、あらゆる対策を取り、安心・安全に利用していただけるよう運営に努めました。

また、指定管理の最終年であったことから、第三期の成果と課題を整理し次期指定管理を見据えた取り組みを進めつつ、サービスの向上と効果的・効率的な経営に努めました。

4 関係機関・団体との連携強化

障害者福祉施策の推進と課題解決に向けて、関係機関・団体と連携し、相互に協力し支援するとともに情報交換を図り、制度改善要望や政策提言の他、新型コロナウイルス感染防止対策への支援などを積極的に行いました。(第70回記念滋賀県身体障害者福祉大会を延期したため、県知事等へは、決議要望に変えて障害者施策要望として4項目を要望しました。)

また、福祉関係団体が実施する事業への参加促進を図りました。

(1) 障害者福祉に関する要望活動等の実施

① 障害者施策に関する要望

(3回：6月(県議会自民党)8月(県議会チーム滋賀)11月(県知事他関係部局)

② 滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会に参画し要望 (1回：7月)

③ 滋賀県市長会、滋賀県町村会への要望 (各1回：11月)

(2) 関係機関や団体等への委員の参画

① 滋賀県社会福祉審議会 (1回)

② 滋賀県障害者施策推進協議会 (4回)

③ 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり委員会 (2回)

④ だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例改定版評価会議 (新) (4回)

⑤ 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会総会(1回)

⑥ 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会(スポーツ大会専門委員会) (1回)

⑦ 滋賀県自立支援協議会 (4回)

⑧ 滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会 (1回)

⑨ 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議 (1回)

⑩ 滋賀県地方バス対策地域連絡協議会 (2回)

⑪ 滋賀県共同募金会配分委員会 (2回) ほか

(3) 関係機関や団体等が実施する事業への協力

- ① 車いすハート調査隊による宿泊施設・公共交通機関のバリアフリー調査への協力
- ② 第10回びかつtoアート展への参画と協力
- ③ 糸賀一雄記念賞および未来賞授賞式等への協力
 - ・第22回糸賀一雄記念賞および第6回未来賞授賞式への協力
 - ・糸賀一雄記念賞第十九回音楽祭への参画と協力
- ④ 第5回滋賀県多職種連携学会への参画と協力
- ⑤ 第28回部落解放研究滋賀県集会への参画と協力

5 障害者社会参加推進支援活動の推進

障害の有無にかかわらずだれもが地域で安心して暮らせる社会(共生社会)づくりに向けて、関係団体・機関の協力の下、当事者団体(身体障害、知的障害、精神障害)を包括する障害者社会参加推進センターを核として障害者の社会参加を図る事業活動の充実を図りました。

(1) 滋賀県障害者社会参加推進センターの強化と活動の充実

障害の有無にかかわらず、だれもが家庭や地域で安心して暮らせる社会づくりに向けて、関係団体・機関の協力の下に、障害者の多種多様な需要の把握から対応までを一本化し、障害者自らによる諸種の社会参加促進施策の体系的、効率的な推進を図り、障害者の地域における自立生活と社会参加を推進することを目的に次の事業を実施しました。

- ① 障害者社会参加推進協議会の開催 (3回)
- ② 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例フォーラムの開催
(開催日:12/6 会場:ビバシティホール 参加者:128人)
- ③ 滋賀県障害者週間啓発・推進事業の実施
新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、例年実施していた街頭啓発に変えて、啓発ティッシュの設置により啓発活動を実施しました。
 - ・啓発活動:県内大型商業施設および各市町庁舎窓口等での啓発ティッシュ配布 23,000個
 - ・啓発イベント:障害者団体等のパネル展示と啓発ティッシュ配布 2,000個
期間:12/1~6 会場:ビバシティ彦根 協力者:35人 来場者:697人
- ④ 障害者差別解消法にかかる相談窓口の設置
- ⑤ 障害者による書道・写真全国コンテストの作品募集(応募総数 55点 結果 入賞 2点)
- ⑥ 滋賀県障害者社会参加推進センターホームページによる情報発信

(2) 社会参加促進事業の推進

各障害者団体ならびに各地域において、障害者が住みなれた地域社会の中で自立し、社会参加を図るため次の事業を実施しました。

- ① オストメイト社会適応訓練
- ② 腎臓障害者生活行動訓練
- ③ 音声機能障害者発声訓練
- ④ 安全な日常生活のための講習・訓練(6地域)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため「車椅子生活行動訓練」は中止しました。

6 身体障害者相談員の資質向上と活動強化

各市町の身体障害者相談員が地域の障害者の日常相談に適切に対応するとともに、新たな関係法令等に関する知識を深めるための研修会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため映像を活用し、開催会場を4カ所に増やして開催しました。

(1) 令和2年度滋賀県身体障害者相談員研修の実施

(9/19(午前・午後各1回)・9/26・10/3 参加者 101人)

(2) 第22回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりました。

7 身体障害者福祉大会の開催と参加

新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、主催の県身体障害者福祉大会は延期、全国、近畿の大会は中止となりました。

(1) 第70回記念滋賀県身体障害者福祉大会延期

(2) 第65回日本身体障害者福祉大会ひろしま大会中止

(3) 第40回日身連近畿ブロック身体障害者福祉大会中止

8 協会青壮年部活動の充実強化

新型コロナウイルス感染症拡大のため、県域をまたぐ事業や交流会等は中止、そのほかの事業等は、感染拡大防止対策を取りながら、協会の中核的組織としてリーダーの育成や組織の基盤強化を図るため実施しました。

(1) 青壮年部交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大のためすべて中止しました。

(2) 県立障害者福祉センター事業への参加

① 障害者文化教養向上事業への積極的参加 (2教室 3人)

② ボッチャ交流大会への参加 (2チーム 4人)

(3) その他事業等への協力

① 車いすハート調査隊による宿泊施設・公共交通機関のバリアフリー調査への協力(11人)

② 障害者週間啓発・推進事業(啓発イベント)への協力 (彦根市 1人)

(4) 青壮年部役員会等の開催

① 青壮年部役員会 (4回)

② 青壮年部幹部会 (2回)

③ 青壮年部役員研修会 (1回)

9 顕彰事業

長年にわたり、身体障害者の更生援護に貢献された方や自ら障害を克服し自立更生し他の模範となっている方等の表彰を行い、各種表彰に候補者を推薦しました。

(1) (公財)滋賀県身体障害者福祉協会長表彰 (援護功労者 5人・自立更生者 5人)

(2) 滋賀県知事表彰 (援護功労者 6人)

(3) 厚生労働大臣表彰 (1人)

(4) 日本身体障害者団体連合会長表彰 (1人)

(5) 滋賀県障害者スポーツ功労賞 (1人)

10 情報提供活動の充実

障害者への情報の提供と協会の主催事業および各地域での取り組みを広く周知するため、広報誌を発行するとともにホームページ等による情報提供活動を行いました。

(1) 機関紙「県身協」の発行 (年4回、各8,200部)

(2) 機関紙「日身連」の購買支援

(11か月、201部 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により5月号は発行されず)

(3) ホームページによる各種情報の提供

11 心身障害者扶養共済制度の推進

身体障害者の扶養共済制度の普及を図るとともに適正な取り扱い事務を行いました。

12 JR割引制度ジパング倶楽部の事務手続き

障害者手帳所持者で男性60歳以上、女性55歳以上の方が加入できる「JRジパング倶楽部特別会員制度」への加入促進を図るとともに、適正な取り扱い事務を行いました。

取扱件数(263件)

13 寄附事業

新型コロナウイルス感染症拡大と医療体制崩壊防止のため、地域や団体と協力し「滋賀県がんばる医療応援寄附」へ寄附をしました。

協力団体数(18団体) 寄付金総額(43万円)

寄附金授与(9月14日 中條 絵里副知事)

14 障害者スポーツに関する調査事業

障害のある方のスポーツに関する調査を県が行うため、調査書を対象者に送付しました。

送付者数(3,000通(県全体:4,100通))

15 滋賀県立障害者福祉センターの管理運営状況

第3期指定管理期間の最終年を迎えることから、その経営にあたっては、「利用者一人ひとりに寄り添い、ともに成長するセンター」を目指し、経営方針と経営目標の下、設置目的に沿った管理運営を進めました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時閉所や修繕工事によるプール等の閉鎖のため、当初の計画内容を変更するなど工夫をして事業等を実施しました。

(1) 利用状況および利用登録状況

新型コロナウイルス感染防止対策のため、利用人数や利用時間の制限をしながら、利用者に対するサービスの向上と広報活動等により、利用促進を図りました。

- ① 開所日数 233日 (新型コロナウイルス感染拡大の影響による臨時閉所：48日)
利用時間 コロナウイルス感染拡大防止のため利用時間を変更
 午前の部： 9時30分～12時 (プール利用は10時から)
 午後の部： 13時 ～ 16時
 夜間の部： 17時30分～20時
- ② 延べ利用者数 30,770人 (令和元年度 77,991人・平成30年度 85,248人)
- ③ 利用者カード発行状況 (有効期限 5年)
 - ・令和2年度発行件数 新規 109件 (令和元年度 234件)
 - 継続 95件 (令和元年度 208件)

(2) センター行事・教室等の開催

① 行事開催事業

障害のある人の積極的な社会参加を推進するため、各種交流・行事、大会を開催し、障害のある人とない人の交流の場を提供して共生の推進を図りました。

ア 交流・行事

- (ア) 第30回記念夏まつり (中止)
- (イ) 音楽会(コンサート) (日程変更し開催) (参加者数： 20人)
- (ウ) 夏休みわくわく体験広場 (参加者数： 63人)
- (エ) 障害者週間啓発イベント(清掃) (参加者数： 74人)
- (オ) 障害者週間啓発イベント(レッツイベント) (参加者数： 264人)
- (カ) はつゆめランド
(プール臨時閉鎖とスポーツ吹矢大会中止) (参加者数： 44人)

イ 大会

- (ア) 水泳記録会 (参加者数： 92人)
- (イ) スポーツ吹矢大会 (中止)
- (ウ) ボッチャ交流大会 (参加者数： 76人)

② 障害者スポーツ指導事業

障害者自身のライフスタイルにスポーツやレクリエーション活動を取り入れるきっかけづくりを提供するとともに、健康増進と社会参加を促進するため、各種教室を開催し、工事によるプール閉鎖期間中は、プール以外の施設等で実施できる教室を実施しました。

ア	スポーツ入門教室	(9 教室 全 59 回	延受講者数： 886 人)	2 教室中止
イ	介護予防	(2 教室		中止)
ウ	重度障害者対象教室	(1 教室 全 10 回	延受講者数： 21 人)	
エ	ジュニア対象教室	(2 教室 全 5 回	延受講者数： 67 人)	1 教室中止
オ	ステップアップ教室	(7 教室 全 90 回	延受講者数： 1,593 人)	
カ	個別サポート	(2 教室 全 60 回	延受講者数： 60 人)	4~8, 9 月中止
キ	測定・評価	(2 教室 全 2 回	延受講者数： 17 人)	
ク	バックアップ教室	(4 事業 通年等	延受講者数： 491 人)	
ケ	地域支援	(10 事業全 51 回	延受講者数： 637 人)	
コ	プール閉鎖中代替教室	(3 教室 全 9 回	延受講者数： 123 人)	

③ 障害者文化教養向上事業

障害者自身のライフスタイルに文化教養活動が採り入れられるきっかけづくりを提供するとともに、社会参加を促進するため、各種教室を開催しました。

ア	文化・教養	(10 事業 全 25 回	延受講者数： 291 人)	2 教室中止
イ	地域支援	(1 事業 全 4 回	延受講者数： 40 人)	

④ 更生相談事業

障害者の健康増進と社会参加を支援するため、医師、理学療法士、体育指導員、看護師が、それぞれの専門的立場から「具体的な訓練方法」「筋力の維持強化」「運動種目の選択および内容」「日常生活におけるリハビリテーション」など、障害の状態に応じた指導助言を行いました。

ア	医療相談	(5 回	相談者数： 14 人)	
イ	理学療法士によるリハビリ相談	(4 回	相談者数： 8 人)	
ウ	アドバイスタイム水中歩行	(14 回	延受講者数： 123 人)	
エ	理学療法士による障害別水中運動教室	(9 回	延受講者数： 27 人)	
オ	楽しく笑顔でリハビリ教室	(中止)		
カ	医療講演会・交流会	(中止)		
キ	地域楽しく笑顔でリハビリ教室	(1 回	延受講者数： 5 人)	
ク	リハビリ大会	(中止)		
ケ	健康教室(プール閉鎖中代替教室)	(3 回	延受講者数： 29 人)	

⑤ 養成研修事業

福祉センターの各種事業に協力・支援していただくボランティアの養成とスキルアップを図るための講座を開催しました。また、障害者スポーツ指導員に呼びかけて指導にかかる知識や技術のステップアップを図るための研修会を実施しました。

ア	ボランティア講座	(受講者数 23 人)		
	ボランティア登録状況	(登録者数 76 人・事業協力延人数 109 人)		
イ	障害者スポーツ指導者研修会	(受講者数 18 人)		

⑥ 広報啓発事業

福祉センターの周知と利用の促進を図るため、年報、利用の手引きおよびセンターだより等を作成し、障害者施設・学校等や施設利用者等に配布しました。

ア 啓発誌等の作成

イ 情報提供等

ウ 広聴

・事業ごとのアンケート調査

・「お客様アンケート調査」の実施

エ 渉外活動

⑦ 自主事業

障害者福祉センターの設置目的に合致し、かつ管理業務の実施を妨げない範囲において、障害者スポーツの振興、県民の健康増進を図るために、福祉センターの自主事業として実施しました。

ア 個別サポート (2 教室 2 回 延受講者数 : 2 人)

イ バックアップ (1 教室 2 回 延受講者数 : 12 人)

ウ 地域支援 (通年 1 回 延受講者数 : 311 人)

(3) センター施設管理等

① 県による改修・修繕工事の実施 (8 件)

② その他センターで実施の修繕等 (40 件)

③ コロナウイルス感染防止対策

(4) その他

① 大学等の教育機関からの依頼や大学との協定による実習生の受入れ (4 人)

② センターの運営に必要な会議等の開催

ア センター運営協議会の開催 (開催日 8 月 28 日)

イ 第三者委員会の開催 (開催日 2 月 25 日)

③ 職員の技術・知識の向上を図るため各種研修会等への参加(派遣)

ア 研修等受講 (回数 8 回 人数 93 人)

イ 日本体育施設協会公認資格更新申請 (回数 4 種類 人数 7 人)

④ 県障害者スポーツ協会事業・県障害者スポーツ大会への派遣

⑤ 登録クラブの状況 (登録クラブ数 : 14 クラブ)

* 詳細については、令和 2 年度事業実施報告書 (説明資料) を参照してください。